

平成 2 2 年 度

事 業 報 告 書

財 団 法 人 オ ー ト レ ー ス 振 興 協 会

平成22年度事業報告書

財団法人オートレース振興協会は、オートレース運営の一翼を担う機関として、現在業界一丸となって進めている「オートレースの構造改革」への取り組みを踏まえつつ、オートレースの健全な発展に寄与するため、競走車等の改良開発に関する調査研究事業、競走車の安定供給体制確保事業、オートレース運営に係るリース事業、衛星通信情報推進事業、電話投票加入者サービス等に関する事業を行った。また、機械工業振興に関する補助事業として、モーターサイクル場の周辺環境改善に関する事業、小型自動車の啓発普及事業、モーターサイクルスポーツにおけるICT活用に関する研究事業を、公益に関する補助事業としてモーターサイクルスポーツの啓発普及事業を実施した。

【事業内容】

1. 競走車振興事業

(1) 競走車等の改良開発に関する調査研究事業

競走車と同部品に関する性能及び耐久性等の向上並びに競走車の安全性の確保を図るため、本年度においては、次の調査研究を実施し、オートレースの公正・安全確保に協力し、その円滑な運営に寄与した。

① 競走車用フレームの統一に関する事業

競走車用フレームに関する共通部品（三角フレーム、上バックフレーム、下バックフレーム）を使用することが、規則において定められることに伴い、メーカーが製作する製品（共通部品）を検査するための製品検査用治具の製作及び簡易型検査治具（共通部品を使用して製作された競走車を検査する治具）を製作した。

財団法人JKAが行う、全車一斉切替前に既に共通フレームに切替わった競走車の簡易型検査治具による確認検査に協力すると共に、確認が済んだ部品への確認シール貼りを行った。（平成23年4月1日より共通フレーム部品のみを使用することが、平成23年2月10日開催の競走車対策専門委員会にて決定された。）

② 防具の開発に関する事業

財団法人JKAと共同で、競走中の落車で重篤な事故となる頸部の保護を図るための防具として頸部保護用防具及び頸部と胴体の一体型の両タイプの開発を行った。

選手の協力のもとに走行テストの実施、公的機関に依頼しての衝撃評価試験の実施において両タイプとも良好な結果が得られたので、第16回事故再発防止委員会（平成23年3月1日開催）に報告し開発した防具について了承された。

今後、業界において導入方法に向けた検討が進められる。

③ 市販二輪車の競走車への転用に関する事業

市販二輪車の競走車への転用に関する第一次計画として、現行競走車フレームに市販車エンジン（スズキ製AR450、モトクロス用エンジン、ミッションチェンジレバーを右側へ改造）を搭載した競走車を製作した。同競走車を使用した走行テストを財団法人JKAの協力を得て選手養成所施設にて実施した。

テストにおいて、競走車フレームとエンジンの関係（特に振動）、など特に問題がなかったため次年度において更なる調査研究を進めていくこととした。

(2) 競走車の安定供給体制確保事業

競技運営支援事業として、備蓄、割賦販売、エンジン部品等に関する事業を以下のとおり実施した。

① 備蓄事業

競走車部品で、その特性から特定のメーカーに一括発注しなければ生産の引き受け先がない部品（223品目）について、当協会が最少限の生産ロット数を発注して在庫保管（備蓄）し、必要数量を選手会支部の部品庫に供給する備蓄事業を行い安定供給に努めた。備蓄部品の販売額は186,639千円で、メーカーからの購入額（仕入額）は193,109千円であった。（詳細は、別紙1を参照）

② 割賦販売事業

選手が、競走車のエンジン又はフレームを購入する場合に初期経費の軽減化を図るための割賦販売事業を行った。割賦販売は、エンジンが83台、フレームが2台であった。

なお、当協会が一括してメーカーに支払った代金については、後日、選手の指定レース場の出場手当等から競走会を通じて割賦払いにより徴収した。（詳細は、別紙2を参照）

③ 取次事業

ア. 競走車のエンジン・同部品に関する取次事業

選手が、競走車のエンジンを現金で購入する場合及び各レース場の部品庫から競走車のエンジン部品を購入する場合に当協会がメーカーに注文を取り次ぐ事業を行った。取り次ぎ内容は、エンジンが32台で取次額は27,216千円、部品の取次額は202,019千円であった。（詳細は、別紙3を参照）

イ. オイルフォークの整備に関する取次事業

選手から、オイルフォークの整備依頼を受けてメーカーに取り次ぐ事業を行った。（オイルフォークの整備は、精密な構造から選手が整備をすることが認められていない。）取り次ぎ内容は6件でその額は138千円であった。（詳細は、別紙4を参照）

④ その他の事業

ア. 苦情処理に関する事業

競走車及び同部品等の供給に係る苦情を受け付け、その内容を調査（目視検査等）し、その状況に応じてメーカーに取り次ぎ苦情処理に努めた。受け付けた件数は59件（部品点数125点）で、28件（部品点数89点）の処理を行った。

（詳細は、別紙5を参照）

イ. オートレース場周辺環境改善に関する事業

財団法人JKAと共同で、競走車（AR600、AR500）に出力規制プレートを着した音量低減効果について近接音量測定を行った。騒音値は、現行消音器と大差ない結果であったので、別な方法での音量低減に向けた調査研究を進めていくこととした。

ウ. 消音器溶接部分の補強作業の実施

新規に導入された競走車用消音器の溶接部分に不具合（キレツ）部品が多数発生したため、メーカーで原因調査を行ったが発生原因が特定出来なかった。メーカーにて対策が検討された結果、溶接部分に補強板を溶接して強度を増すこととなった。

補強板溶接は不具合が発生していない製品を含めて全選手の消音器及び備蓄製品について、メーカーの了承のもと外部委託して実施した。

エ、タイヤの熱だれ対策に関する事業

住友ゴム工業(株)が製造した熱だれ対策用試作タイヤについて、選手会の協力のもと実車走行テストを4回実施したが、良好な結果が得られなかった。

そのため次年度において、熱だれ対策用タイヤの早急な完成に向けて事業を進めることとした。

2. リース事業

オートレース運営機器(投票関係機器、映像関係機器等)を導入するときに、施行者及び競走会等の初期費用の軽減化に資するため、当協会がその機器等を施行者及び競走会等にリースする事業で、本年度は川口市と発走合図機に係るリース契約を行った。(詳細は、別紙6)

3. 衛星通信情報推進事業

光ファイバーによる映像配信網を敷設し、衛星放送(スカイパーフェクTV216ch・240ch)で延べ483日間のオートレースの実況中継及びCM放送を行った。チャンネル別の放送日数は、216chで366日間、240chで117日間放送。(詳細は、別紙7)

4. 電話投票加入者サービス及び加入者募集等事務に関する事業(事務受託事業)

オートレーステレホンセンター事業の加入者サービス及び加入者募集事務について、事務の一部を財団法人東日本小型自動車競走会からの受託により行った。加入者サービスとしては、圧着ハガキによる開催告知案内、加入者募集としては、電話投票ハンドブックの制作等を行った。(詳細は、別紙8)

オートレース電話投票は平成3年9月にサービスを開始(i-net投票は平成15年6月よりサービス開始)、平成18年4月からイーバンク銀行(現、楽天銀行)、平成21年4月からジャパンネット銀行での取扱いも開始しており、平成23年3月末現在の会員数は、79,672名(対前年8,127名増)となり順調に運営が行われている。

5. 機械工業振興に関する補助事業

(1) モーターサイクル場の周辺環境改善に関する事業

モーターサイクル場の周辺環境改善に資するため、大規模な大会開催日と施設定休日のそれぞれの大気環境調査(一酸化炭素、二酸化窒素他)を行った他、レーシング用大型オートバイ(1000CC)の排気ガス調査(シャーシダイナモによる調査)を行った。

測定調査は専門機関に委託して行った結果、大気測定では大会開催日の一酸化炭素の濃度が定休日の2倍以上の結果が出たが、他の項目の差はあまりないとの結果であった。また、オートバイの測定も一般車両より高い濃度の結果が出た。測定調査の結果については報告書に纏め、モーターサイクル場関係者及び二輪車関係団体への提供を予定している。

(2) 小型自動車の啓発普及補助事業

① バイクイベント等の開催

小型自動車のイメージアップ及び認知度の向上を図るため、バイクイベントの開催及びバイクイベントへのブース出展を行い、モーターサイクルパンフレットの配布等、小型自動車のPR活動を実施した。(詳細は、別紙9)

② イベント宣伝広告

バイクイベントの開催直前に近隣商業施設で、イベント開催告知チラシ、モーターサイクルパンフレット、PRグッズ等を配布した。また、テレビ局とのタイアップによりタレントやモーターサイクルスポーツ競技選手のトークショーを実施し、同テレビでイベント告知CMを放送した。(詳細は、別紙10)

③ プロモーション活動

小型自動車の啓発普及を図るため、モーターサイクルスポーツのイメージCM「モーターサイクルスポーツ応援編」を制作した。また、バイクのある風景をテーマとした小型自動車のプロモーション番組「Mブリーズ」を制作し、バイクの魅力や楽しさ及び全国各地で行われたバイクイベント等をBS11デジタルで放送した。(詳細は、別紙11)

④ 小型自動車の利用実態に関する調査

インターネット上で、バイクに関する利用実態及び今後の利用意向等の意識についてアンケート調査を行った。

バイクユーザー(412サンプル)では、利用している理由として「バイクに乗る楽しさ」や「欲しいと思うモデルあったから」が、非バイクユーザーでは、(412サンプル)「購入費用が高いから」等の理由でバイクに乗らない(乗ることをやめた)という結果が得られた。

今後のあり方としては、回答者がバイクの魅力として挙げている「自然や季節を感じられる」、「気分転換できる」等々、バイクの持つ『走りを楽しむ』ということをコミュニケーションとして、啓発普及に取り組むことが重要であると考えられる。

(3) モーターサイクルスポーツにおけるICT活用に関する研究事業

インターネットを利用した情報システムの研究開発(決済システムへの情報のオンライン化と個人情報のオンライン化取得による会員登録の簡便化等)を実施し、個人情報の保護・情報セキュリティの強化・情報システムの処理の効率化等を行い、事業の円滑化・効率化を図った。

6. 公益に関する補助事業

(1) モーターサイクルスポーツの啓発普及事業

ポケバイレース、ソーラーバイクレースを秋ヶ瀬サーキット等で開催した。また、モーターサイクルレース場においてキッズバイク体験教室や試乗会、複数種のバイクを集めたデモンストレーションレースを実施した。

イベント開催に伴い、集客のためのチラシ制作を実施した。(詳細は、別紙12)

(2) モーターサイクルスポーツの意識調査

モーターサイクルスポーツ来場者の意識を把握し、今後の施策に資するため、モーターサイクル競技場やモーターサイクルイベント会場でアンケート調査（1,500サンプル）を行った。

来場者の多くが、「もっとバイクのレースやイベントを増やしてほしい」、「もっとバイクに触れられる機会や試乗会等を増やしてほしい」と回答し、モーターサイクルスポーツファンが実際に目で見たり触れたりする機会を望んでいるという結果が得られた。

なお、5の事業については、財団法人JKAの「小型自動車等機械工業振興補助事業」、また、6の事業については同財団の「オートレースの公益事業振興補助事業」による補助金を受けて実施した。

「別紙1」 備蓄事業

①備蓄部品購入額

単位：円

購入先	金額	品目
ダンロップタイヤ中央(株)	141,097,950	タイヤ
(株)エフ・シー・シー	30,858,555	ミッション、クラッチ
スズキ二輪(株)	16,800,000	エンジン
宝和化学(株)	1,839,600	補機 (アンダーガード)
岡田商事(株)	1,348,200	補機 (プラグ)
スズキ二輪(株)	419,752	2級車部品
(株)丸徳商会	367,500	補機 (オイルタンク防振ゴム)
(株)内海技工	321,300	補機 (オイルタンク取付ステー)
日本シーライト(株)	56,175	補機 (バランスウェイト)
合計	193,109,032	

②備蓄部品販売額

単位：円

販売先	金額	(部品)	(タイヤ)		(エンジン)	
			本数	金額	台数	金額
船橋支部	33,105,692	6,292,892	3,648本	26,812,800	0台	0
埼玉支部	28,761,542	7,983,092	2,827本	20,778,450	0台	0
浜松支部	25,076,338	5,584,138	2,652本	19,492,200	0台	0
西日本支部	34,531,124	6,108,674	3,867本	28,422,450	0台	0
山陽支部	27,711,240	3,919,290	3,237本	23,791,950	0台	0
伊勢崎支部	27,283,540	5,483,440	2,966本	21,800,100	0台	0
選手養成所	4,375,950	4,375,950	0本	0	0台	0
業務ユニット	2,788,387	362,887	0本	0	3台	2,425,500
(有)大野フレーム工業所	496,781	496,781	0本	0	0台	0
(株)エフ・シー・シー	82,950	82,950	0本	0	0台	0
計	184,213,544	40,690,094	19,197本	141,097,950	3台	2,425,500
(月平均)		3,390,841	1,600本	11,758,163		
振興協会 (割賦)	808,500				1台	808,500
振興協会 (現金取次)	1,617,000				2台	1,617,000
合計	186,639,044	40,690,094	19,197本	141,097,950	6台	4,851,000

・各支部部品販売額には、2級車専用部品を含む。

「別紙2」 割賦販売額

単位：円

支 部	エンジン (AR600)		エンジン (AR500)		フレーム	
船橋支部	13台	11,014,500	0台	0	0台	0
埼玉支部	19台	16,159,500	0台	0	0台	0
浜松支部	14台	11,907,000	0台	0	1台	509,240
西日本支部	8台	6,804,000	0台	0	0台	0
山陽支部	10台	8,505,000	0台	0	1台	613,442
伊勢崎支部	19台	16,159,500	0台	0	0台	0
合 計	83台	70,549,500	0台	0	2台	1,122,682

「別紙3」 AR600型エンジン及び同部品取次額

単位：円

支 部	エンジン		エンジン部品	合 計
船橋支部	11台	9,355,500	28,975,437	38,330,937
埼玉支部	1台	850,500	37,485,191	38,335,691
浜松支部	3台	2,551,500	36,282,651	38,834,151
西日本支部	9台	7,654,500	41,120,914	48,775,414
山陽支部	3台	2,551,500	22,228,541	24,780,041
伊勢崎支部	5台	4,252,500	35,926,936	40,179,436
合 計	32台	27,216,000	202,019,670	229,235,670

「別紙4」 オイルフォーク整備取次額

単位：円

支 部	件 数	金 額
船橋支部	3件	69,300
埼玉支部	0件	0
浜松支部	0件	0
西日本支部	0件	0
山陽支部	2件	46,200
伊勢崎支部	1件	23,100
合 計	6件	138,600

「別紙5」 苦情処理

①部品名別苦情受付状況表（全国合計）

順位	苦情部品	数量
1	クランクピンベアリング 黒	25
2	シリンダスタッドボルトL193	10
3	キャブレターAssy (VM32)	9
4	アウターハウジングアッセンブリ I型	8
5	エキゾーストカムシャフト	6
5	消音器付エキゾーストパイプ-L	6
7	ロッカーアームComp	5
7	消音器付エキゾーストパイプ-R	5
9	シリンダスタッドボルトL201	4
9	コンロッドボルト	4
9	No. 1オイルポンプカバー	4
12	クランクケースセット	3
12	ピストンピン	3
12	コンロッドAssy	3
12	クランクシャフトアッパーベアリング 黒	3
12	インテークカムシャフト	3
12	プッシュロッド(182 ³) I型	3
18	シリンダComp	2
18	センターハウジング I型	2
18	クランクシャフトComp	2
18	ロッカーアームシャフト	2
18	エキゾーストバルブ	2
18	No. 2オイルポンプAssy	2
	その他10位以下	9
	合 計	125

②レース場別部品名別苦情受付状況表

船橋オートレース場		
順位	苦情部品名	数量
1	クランクピンベアリング 黒	18
2	シリンダスタッドボルトL193	10
3	シリンダスタッドボルトL201	4
3	ロッカーアームComp	4
5	クランクケースセット	3
6	シリンダComp	2
6	クランクシャフトアッパーベアリング 黒	2
6	ロッカーアームシャフト	2
	その他 9位以下	11
合 計		56

浜松オートレース場		
順位	苦情部品名	数量
1	クランクピンベアリング 黒	3
2	アウターハウジングアッセンブリ I型	2
3	センターハウジング I型	1
3	クランクシャフトアッパーベアリング 黒	1
3	エキゾーストカムシャフト	1
3	消音器付エキゾーストパイプ-R	1
3	消音器付エキゾーストパイプ-L	1
3	クラッチアッセンブリ I型	1
3	マグネットAssy	1
	その他 10位以下	0
合 計		12

伊勢崎オートレース場		
順位	苦情部品名	数量
1	プッシュロッド(182 ³) I型	3
2	アウターハウジングアッセンブリ I型	2
2	クランクピンベアリング 黒	2
4	センターハウジング I型	1
4	コンロッドAssy	1
4	ロッカーアームComp	1
4	キャブレターAssy (VM32)	1
	その他 9位以下	0
合 計		11

川口オートレース場		
順位	苦情部品名	数量
1	シリンダヘッドカバー	1
1	消音器付エキゾーストパイプ-R	1
1	消音器付エキゾーストパイプ-L	1
	その他 4位以下	0
合 計		3

飯塚オートレース場		
順位	苦情部品名	数量
1	エキゾーストカムシャフト	3
1	No.1オイルポンプカバー	3
2	アウターハウジングアッセンブリ I型	2
2	ピストンピン	2
2	コンロッドAssy	2
2	コンロッドボルト	2
2	インテークカムシャフト	2
7	シリンダガasket	1
7	エキゾーストバルブ	1
7	消音器付エキゾーストパイプ-R	1
7	消音器付エキゾーストパイプ-L	1
7	No.2オイルポンプAssy	1
7	No.1オイルポンプローターセット	1
	その他 13位以下	0
合 計		22

山陽オートレース場		
順位	苦情部品名	数量
1	キャブレターAssy (VM32)	8
2	コンロッドボルト	2
2	クランクピンベアリング 黒	2
2	クランクシャフトComp	2
2	消音器付エキゾーストパイプ-L	2
	その他 6位以下	5
合 計		21

「別紙 6」 リース物件取得額

単位：円

リース先	物件名	金額
川口市 (川口オートレース場)	発走合図機関係機器	73,500,000

「別紙 7」 衛星通信情報推進事業

衛星放送によるオートレース実況中継日数：延べ483日間（開催中止によるBプロ放送を含む）

グレード	レース名	放送日数
SGレース	スーパースターフェスタ2010（川口）他	計 25日間
GIレース	GI平成チャンピオンカップ（山陽）他	計 70日間
GIIレース	GIIジュニア選手権（飯塚）他	計 49日間
普通開催	日本トーター杯（川口）他	計339日間

チャンネル別放送日数
216ch：366日間
240ch：117日間

「別紙 8」 電話投票加入者募集等事務に関する事業

項目	主な内容
加入者募集に係る事務	募集関係印刷物の制作 募集関係書類の発送 電話投票ハンドブックの制作 i n e t 投票ハンドブックの制作
加入者サービスに係る事務	圧着ハガキによる開催告知案内の企画制作及び発送

「別紙9」 バイクイベント

イベント（場所）日時	内 容
三宅島バイクフェスティバル（お台場特設会場） H22. 6. 6	モーターサイクルスポーツパンフレット等の配布 メカニカルスクール（エンジン分解・組立）
筑波サーキット40周年記念イベント（筑波サーキット） H22. 8. 15	モーターサイクルスポーツパンフレット等の配布 メカニカルスクール（エンジン分解・組立）
バイクのふるさと（浜松市総合産業展示館） H22. 8. 21～22	モーターサイクルスポーツパンフレットの配布 メカニカルスクール（エンジン分解・組立） モーターサイクルクイズ、選手トークショー
モータースポーツ JAPAN（お台場特設会場） H22. 10. 2～3	モーターサイクルスポーツパンフレットの配布 メカニカルスクール（エンジン分解・組立）
船橋オートフェスティバル（船橋オートレース場） H22. 10. 17	スーパーGT、FMX、エクストリーム、モタード、D1等のデモンストレーション走行等 レーサーによるトークショー モーターサイクルスポーツパンフレット等の配布
テストオブ筑波（筑波サーキット） H22. 11. 7	モーターサイクルスポーツパンフレットの配布 レーサーによるトークショー

「別紙10」 バイクイベントの宣伝

イベント（場所）日時	内 容
① 静岡県・サンストリート浜北 （2階イベント広場） H22. 9. 11～9. 12	バイクイベント開催告知チラシの配布 トークショー、クイズ大会、じゃんけん大会 タレント：武蔵 選手：齋藤正悟、佐藤貴也
② 福岡県・天神駅地下街 （三越ライオン広場） H22. 10. 23 小倉競馬場（サンプリングのみ） H22. 10. 24	バイクイベント開催告知チラシの配布 トークショー、クイズ大会、じゃんけん大会 タレント：MAMI、ブルーリバー、パタパタママ 選手：有吉辰也、篠原睦
③ 東京都・池袋サンシャインシティ （サンシャイン噴水広場） H22. 12. 18	バイクイベント開催告知チラシの配布 トークショー、クイズ大会、じゃんけん大会 タレント：京本政樹 選手：若井友和、阿部剛士、田邊誠、大木光
④ 群馬県・スマーク伊勢崎 （3階キッチン前広場） H22. 2. 5～2. 6	バイクイベント開催告知チラシの配布 トークショー、クイズ大会、記念撮影会 タレント：玉袋筋太郎、渡辺直美、ウルトラセブン 選手：三浦康平、早川清太郎

「別紙11」 プロモーション活動

放送局：BS11デジタル

放送日：毎月第3日曜日 22:55～23:00

	放送内容
1	東京モーターサイクルショー
2	全日本ロードレース選手権 第1戦（筑波サーキット）
3	姉妹モトクロスレーサー
4	クラシックバイクミーティング（川口オートレース場）
5	女性ライダーのツーリング
6	浜松で行われた「バイクのふるさと」祭
7	スーパーカブ（50cc）のカスタムバイク
8	バイクフェスティバル [FMX、エクストリーム他]（船橋オートレース場）
9	オートレース選手養成所・第31期女子候補生
10	ペーパークラフトバイク
11	スノーモービル
12	オートレース競走車

「別紙12」 ポケバイレース等のイベント開催

場所	内容	期日
船橋レース場	クラシックバイクのデモ走行 バイクレースのパネル展	平成22年10月 〃
川口レース場	ポケバイ体験走行及びポケバイレース 〃 クラシックバイクミーティング	平成22年9月 平成23年1月 平成22年6月
伊勢崎レース場	キッズバイク体験教室 〃 モーターサイクルイベント「バイク人・秋祭り」	平成22年5月 平成22年11月 平成22年9月
浜松レース場	ソーラーバイクレース及び開催告知チラシの制作	平成22年9月
飯塚レース場	チャリティーミーティング（ハーレーダビッドソン走行会）	平成22年6月
秋ヶ瀬サーキット	ポケバイレース	平成22年8月